



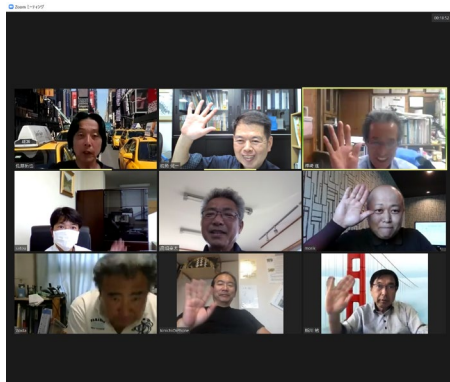
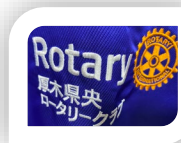
2020-2021 厚木県央RC

【高畑年度】

上期総括

[能勢の解説付き動画はコチラ](#)

今年度の変化①



【高畑年度開始前（理事役員予定者会議をzoomオンラインにて）】
思い起こせば、高畑年度が始まる前は、前回の緊急事態宣言発令。理事役員予定者会議もzoomオンラインで行いました。ほぼ皆さん初めての経験でしたが、無事に新しい年度を迎える事ができました！



【例会開始前の時間に「今日は何の日」紹介（佐藤SAA）】
1966年のこの日、TBSドラマで『ウルトラマン』の放映が開始された為、本日はウルトラマンの日として、日本記念日協会に登録されております。

皆さん、聞いているかな…



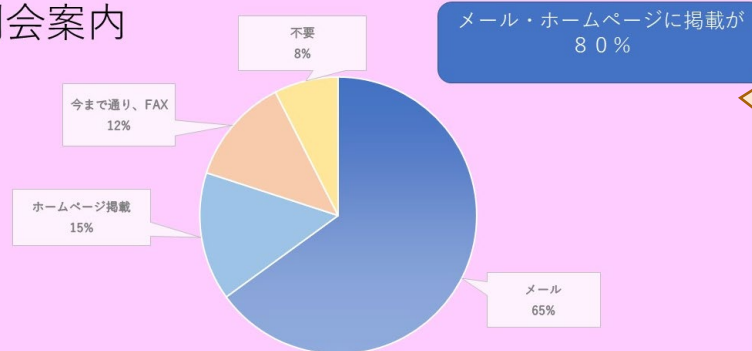
【新型コロナウイルス感染症対策】

アーバンホテル様の協力も多大。例会場の換気、検温計、アクリル板設置、マイク除菌スプレー、除菌シート…

今年度の変化②



例会案内



【例会案内・アジェンダをFAXからメール配信へ】

クラブ管理運営委員会によるアンケート調査の結果、想定以上にスマホやメールの利用度が高く、デジタル化に向けて舵を切りました。

皆さん、
見てくれているかな…

【ホームページ大幅リニューアル&例会を動画撮影】

厚木県央RCのホームページを大幅リニューアルして、最新の情報からスケジュール、例会の報告など、過去現在未来が分かり、会員の皆様に使いやすいサイトを目指しました。また、例会行事を動画で撮影し、厚木県央RCのホームページとYouTubeチャンネルに掲載しています。



7月度



①緊張の
第1回
会長TIME



②難波委員長より、システム変更について説明。今年度、大きなうねりをもたらした、デジタル改革。



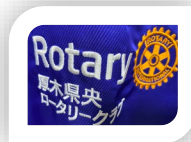
③松本委員長によるボリュームたっぷりの前年度ラオス報告（後日、ロータリーの友に見開き2ページに渡る掲載の快挙！）



④お昼ノンアルコールでの親睦納涼例会。開催前の予想を覆す、大盛り上がりのトランプ大会！



8月度



①佐藤拓也
公共イメージ
委員長による卓話例
会
「ポリオの
歩みを学
び、我がク
ラブにでき
ること」



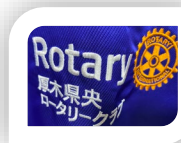
③座間 R C 前会
長
鈴木義隆様による卓話例会
「座間 R C 会員
増強成功までの
秘話・秘訣」

②伊藤会員と
荻野会員による職業卓話例
会「コロナ禍
における社会
環境、経営環
境の変化への
対応」

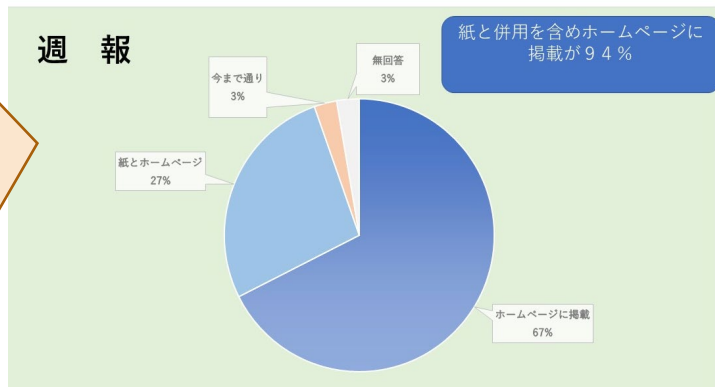


このあたりから
ホームページの
コンテンツが増
え始めます。
閲覧人気一番
は、メンバー
ページ
です

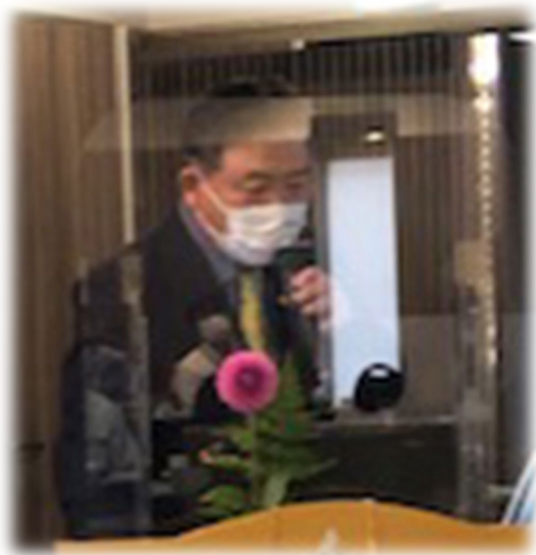
9 月 度



① クラブ管理運営委員会により、「週報・例会案内 FAX 等システム変更について」



② 松本奉仕プロジェクト委員長より、次年度地区補助金への取組みについて詳しく説明がありました。



③ 2780地区米山奨学、米山学友委員長常盤卓嗣様にお越しいただき米山奨学金について詳しくご説明をいただきました。



④ 第2780地区第6グループのガバナー補佐でいらっしゃいます、辻彰彦様にお越しいただきました。

10月度

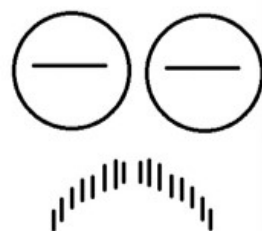


①今年度の補助金事業についての取組の報告と、赤尾さんとZOOMで繋がリラオスの現状報告を頂きました。



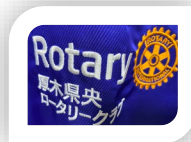
③地区財団資金推進委員田後委員長による卓話「ロータリー財団寄付のためのPR例会」

②久保田ガバナーの公式訪問。穏やかで、カッコイイ大人を感じのお人柄でした。



④ネパール支援「古着集荷梱包」重さ約300kg、募金は¥66,000-集まりました！

10月度②



④大和RCからは富岡会長と職業奉仕委員長の相原様にIMキャラバンと言う事でお越しいただきました。



Rotary 国際ロータリー第2780地区 第6グループ
Intercity Meeting
IMキャラバン

「地域の絆で、奉仕の輪を広げる」
＝ 奉仕と芸術文化の祭典 ＝

ご協力をお願いします！！

子ども支援
文化 / 芸術
スポーツ
ボランティア
ロータリーは奉仕の輪を開く

1 地域で活躍する様々な団体をご紹介ください。
締切日 11月20日(木) 17:00迄

2 その団体へご連絡させていただきます。
締切日 11月20日(木) 17:00迄

参加クラブ：厚木ロータリークラブ、足柄上ロータリークラブ、大和ロータリークラブ、厚木南ロータリークラブ、大和田町ロータリークラブ、東条町ロータリークラブ、相模原南ロータリークラブ、相模原北ロータリークラブ、本郷北ロータリークラブ、ホストクラブ、大和ロータリークラブ

⑤地区大会も縮小開催。会長・会長エレクト・幹事の3人で参加してきました。久保田ガバナーの無念さが印象的でした。



11月度

①チャーターナイト記念例会。コロナの影響で夜間を昼間に。ノンアルコールシャンパンでお祝いしました。



②地区公共イメージ委員会委員長 當間安弘様による卓話例会「効果的な広報活動」



③職業奉仕委員会担当のネポン工場見学。高畑年度初の移動例会。いつもと違った場所での点鐘に新鮮さを感じました。社員皆様の素晴らしい対応が印象的でした。



④7名の方に10組の地域活動団体をご紹介して頂きました。厳選して、今年度のIMで紹介します。

12月度



①クラブ協議会次年度理事役員及び会長ノミニーの選挙が行われ以下のメンバーが選出されました。

会長エレクト	和田 貴樹君
副会長	北村 正敏君
会長ノミニー	新川 勉君
幹事	松本 豊君
会計	森 志朗君
会員組織	守屋 孝則君
クラブ管理運営	荻野 洋一君
公共イメージ	伊藤 一君
奉仕プロジェクト	山口 昌興君
職業奉仕	春日 清則君



和田会長エレクトを中心に次年度を盛り上げて行って頂きたいと
思います。黙ってても盛り上がる気もしますが ^ ^

12月度②



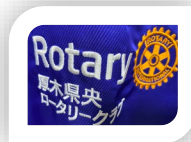
①忘年例会（Xmas例会）も中止になり、荻野会員の豪華お弁当を配布する事に。来られなかった方に会長直筆のXmasカード発送しました。



②その他、厚木市少年野球大会のメダル授与式やソフトボールチャレンジカップへの協賛は継続しています。



12月度③



ロータリーの友12月号に、我がクラブの奉仕プロジェクト委員会松本委員長の寄稿がなんと見開き2ページにわたり堂々と掲載されました！当クラブの国際奉仕活動（ラオス支援）についての記事です。現地での写真も雰囲気よく掲載されていて、充実した活動の様子がうかがえます



Point

- 1 頼りになる人がいるか
言葉が通じても、きちんとした支援ができるかは限りません。現地の事情に詳しい人にプロジェクトに関わってもらうと、いろいろな情報ももらえます。
- 2 現地とクラブ関係をつなぐ
もし時期が合えばオンライン例会で、現地から活動の報告をしてみてもいい。臨場感あふれるレポートで、現地に行けなかったクラブの仲間への理解を深められることでしょう。
- 3 どんなものかを知る
今回はクラブ独自のプロジェクトだったため、クラブの判断で支援物資を決めましたが、グローバル補助金、地区補助金を使う場合、支援の内容に制約がある場合があります。

厚木県央RCは2018年に創立20周年を迎えたのを機に、初の国際奉仕活動として、ラオスのルアンパバーンにある小児病院の支援プロジェクトを実施しました。きっかけは、知り合いのロータリアンから、NPO法人が運営するラオ・フレンス小児病院で活動をしている看護師、赤尾和美さんについて聞いたことです（⇒Point 1）。

決め手となった理由

第一に、同NPO法人は、小児病院を恒久的に支援するのではなく2025年をめどに、県立小児病院として引き渡すことを目指し、治療だけでなく現地の医師の教育も行っています。そのため私たちも期限を定めた支援活動ができ、奉仕活動の目標達成が確認できると思います。

第二は、間に入る機関がないことで、事務経費などがからず、寄付金の全てが子どもたちのために使われ、かつ、クラブ予算内で子どもたちへ提供できる医療物資が1年間寄付できるため、限られた資金で多くの子どもたちの命を救えます。

第三は、赤尾さんの人柄と情熱です。海外から参加している医療スタッフが全員ボランティアという点にも感銘を受けました。日本人看護師は赤尾さん一人しかおらず、そんな中で山間部の

疾病予防と治療月間

国際奉仕活動を実施するには、クラブに潤沢な資金があって、語学が堪能な会員がいて、現地の事情に詳しい会員がいて……。そんな条件が必要だと思いませんか？ 厚木県央ロータリークラブ（RC）は創立20周年を迎えたことを機に、2018年からラオスで、クラブ初となる国際奉仕活動に着手しました。コロナ禍で海外での活動が制限される今こそ、厚木県央RCの活動を例に、コロナ収束後を見据え、国際奉仕の計画を進めてみませんか？



あれれ、一人だけおそろいのシャツを着てない人が！会長を頼んで、おなじりのシャツも作成？？

高橋孝夫会長エレクトの補綴が植髪をバイ君が通訳。「バイ君がそのまま髪の方がかかった」などと喜んではいけません。染髪担当は現原康文会員

現地のシャイな子どもにこっぴど

井原明会長から赤尾さんに支援目標の贈呈

早起して僧侶の托鉢も見学

資金は、地元の県庁で行った街頭募金と会員からの寄付金を活用しました。

現地のことを知る

現地に着くと、赤尾さんが出迎えてくれました。ラオスの医療機関は非常に設備です。この小児病院は県立病院の敷地内にあるため、万が一、クラスターが起きてしまうと容易に医療体制が崩壊してしまいます。そのため、マスクを着用するよう厳しく言われました。ガイド兼通訳としては、日本語が堪能なバイ君がサポートをしてくれました（⇒Point 4）。

いよいよ活動開始

全員、ロータリーの公式ロゴが入ったおそろいのシャツを着て活動する予定でしたが、立派な会長が長袖の服装から解放され、心も体も緩んだのかサイズが合わなくなり、1人、ロータリーの公式ロゴが付いているもの別々のシャツを着るようになりました（⇒Point 5）。

病院に到着後、すぐに活動開始。今回のテーマは「子供たちに笑顔を届ける」です。病院で過ごす子どもたちのために、輪投げと紙芝居を持参した。赤尾さんの指示に従い準備しました。シャイな国民性と言葉の壁があり、最初は遠慮がちだった子どもたちも次第に積極的に参加、楽しんでくれたと実感しました。持参したおもちゃは、単に手渡すだけではなく、コミュニケーションが取れるよう、ゲームの景品として渡しました。ただ予想外だったのは、喜ばれたいと思ったカプセルトイは不人気で、シャボン玉セットが好評でした。

子どもたちの交流後、病院内を見学しました。患者数に対してスペース不足を感じました。患者が多いため、廊下などにもベッドが置いてあり、病棟の軒下で毛布を敷いて仮眠を取っている子供連れの家族も……。今年から始めたという院内訪問も見学しました。この訪問は食料の自給により病院の食費を節約するとともに、栽培した作物を販売し、病院の運営費用に充てることも目的としています。クラブでは今後、医療支援とともに、農業等も奉仕活動の一環として検討したいと考えています（⇒Point 6）。

活動が終わって

最終日、ルアンパバーンの街の雰囲気を感じました。世界遺産にも指定されているこの街は、メコン川に面した仏教の聖地。まだ夜が明けない頃には僧侶の托鉢に町を歩く姿を見ることが出来ます（⇒Point 7）。





以上、2020-2021上期総括でした！
下期もどうぞよろしくお願ひ致します。

